



©yoshikawa

令和2年度吉川市

主な事業のあらまし

市民の皆さんからお預かりしているお金の使い道などを
わかりやすくご説明します。



吉川市

吉川市 主な事業のあらまし

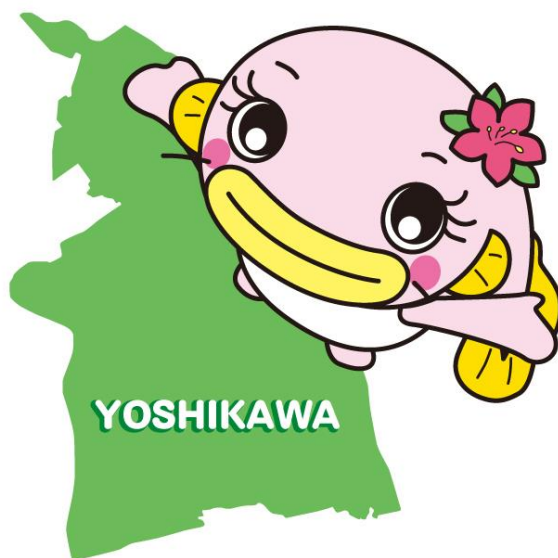
市の予算は、市民の皆さんのものであり、市には毎年度の予算について

市民の皆さんに説明する責任があります。

市が法律に基づいて作成する予算書は、一般的に聞きなれない用語や数字が整然と並んでいて

予算の内容がつかみにくいことから、この「主な事業のあらまし」では、表やグラフをまじえながら

わかりやすくお知らせすることを心掛けています。



©yoshikawa

目次

基礎知識編	3ページ
歳入編	5ページ
歳出編	6ページ
主要事業編	7ページ

令和2年度のまちづくり

●吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業

吉川美南駅と一体となった拠点形成を図るため、吉川市の顔として誇れる「まち」となるよう土地区画整理事業を推進してゆきます。令和2年度から令和3年度にかけては、1号調整池の整備を進めてゆきます。

○1号調整池整備事業

14億2,500万円

【財源内訳】地方債… 14億2,500万円

・R2年度 … 9億円

・R3年度 … 5億2,500万円

吉川美南駅東口周辺地区
土地利用計画図



●吉川中学校の開校

市内4番目の中学校「吉川中学校」(用地購入・備品購入等を含む総事業費約56億円)が令和2年4月に開校します。「近隣の学校と連携し、地域社会に寄り添う中学校」を基本コンセプトに、吉川市独自の「志教育」のもと、地域と協働する学校づくりを進めてゆきます。



吉川中学校完成イメージ

○学校管理運営事業 (中学校)

8,376万円

【財源内訳】その他… 44万円
一般財源… 8,332万円

※既存3中学校も含めた施設管理費等

●越谷吉川線整備事業

「都市計画道路越谷吉川線」のうち、県の施工区間については、令和2年度の暫定供用と令和4年春の完成を予定しています。吉川橋については、「美しい吉川橋」の実現に向け、埼玉県・越谷市と連携して事業を進めてゆきます。

また、当市の施工区間である大場川から加藤平沼線までの区間について、橋の上部工と護岸工事を計画的に進めてゆきます。

○都市計画街路整備事業

3億6,966万円

【財源内訳】国庫支出金 … 2,790万円
地方債 … 3億100万円
その他 … 1,878万円
一般財源 … 2,198万円

・埼玉県施工部分 … 1億4,699万円

・吉川市施工部分 … 2億1,559万円



吉川橋美化化(歩道部)完成イメージ

Q そもそも、予算とはなんですか？

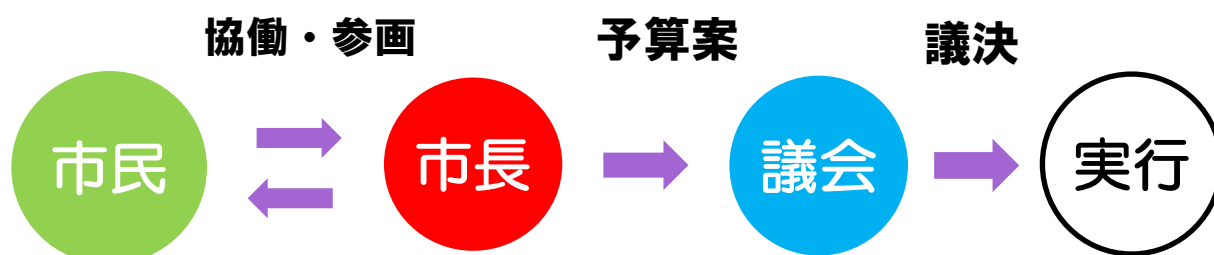
A. 予算とは、1年間の収入と支出を見積もることです。

新しい年度が始まる前に、1年間(4月から翌年3月まで)にどのくらいの収入があるか、その収入を元にしてどのような事業を行うかを計画し、その費用を見積もります。

Q 予算はどのように決まるのですか？

A. 市の担当部局が、市民の皆さんからのご意見などを考慮して、1年間の事業計画を検討します。市長は、担当部局との調整を重ね、予算案としてまとめ、市議会に提出します。

市議会は、提案された予算案を審議した上で、議決によって予算を決めます。



Q

令和2年度の吉川市の予算は？

A. 一般会計、特別会計、企業会計の予算を合わせると、

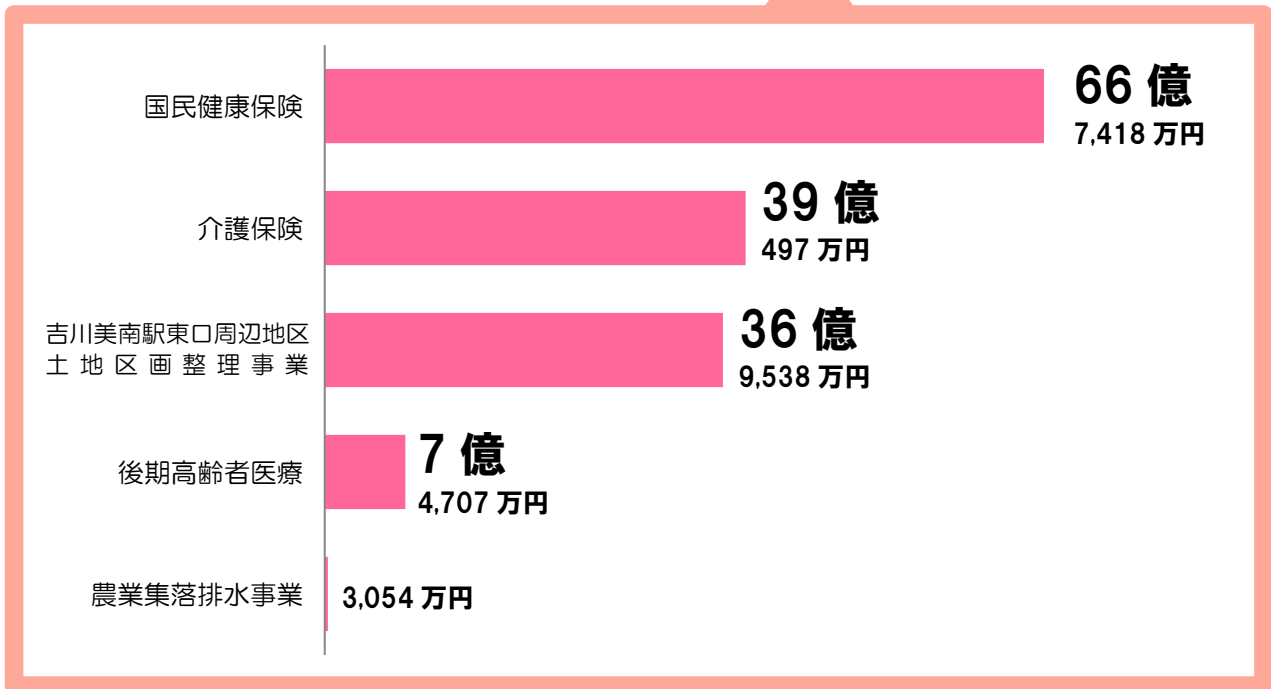
431 億 4,203 万円になります。



福祉、教育、道路整備などを進める基本的な行政サービスを行うための会計です。

特定の目的の会計で、吉川市には5つの会計があります。

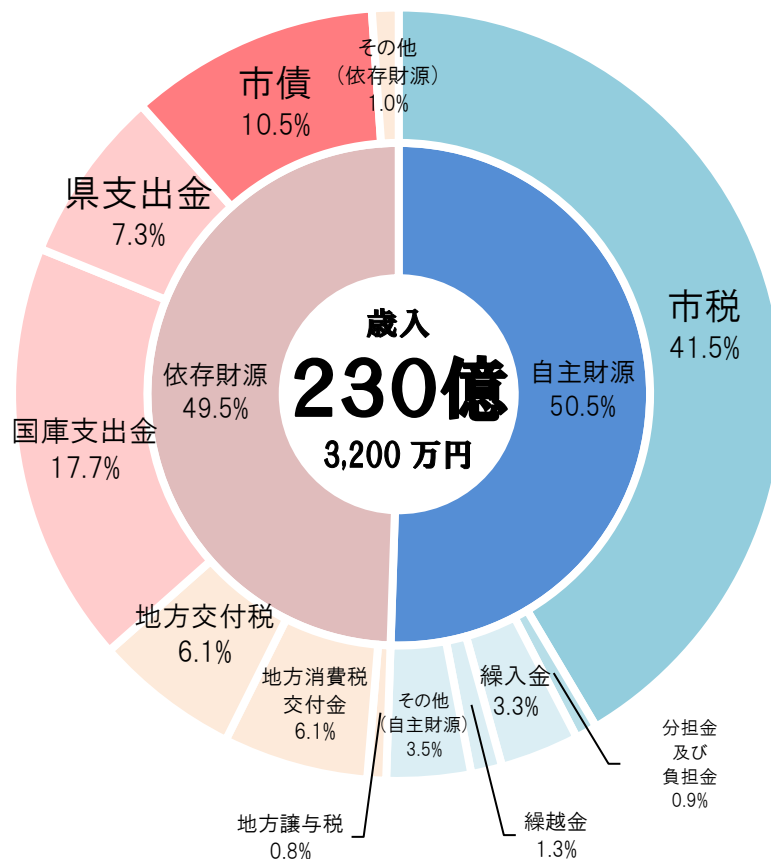
市が経営する企業の会計で、吉川市には水道事業会計、下水道事業会計があります。



※公営企業会計については、収益的支出と資本的支出の合計額を予算額としています。

Q 令和2年度の吉川市の予算は？

A. 一般会計の歳入には、市税や国・県からの支出金、銀行などからの借入金や施設の使用料などがあります。



～依存財源～

吉川市が国や県などに依存するかたちで調達する財源です。

●市債 24億 1,230万円

大規模な工事などの事業を実施するために、国や金融機関から借り入れるお金です。

●国庫・県支出金 57億 4,633万円

皆さんが国や県に納めたお金の一部が、特定の目的を達成するために地方公共団体に交付されます。

●地方交付税 14億円

皆さんが国に納めた税金の一部です。一定の割合に応じて地方公共団体に交付されます。

●地方譲与税 1億 8,100万円

国税として徴収した特定の税目の収入の一部が、一定の基準に基づいて地方公共団体に譲与されるものです。

～自主財源～

吉川市が自らの権能に基づいて自主的に収入できる財源です。

●市税 95億 5,101万円

市民の皆さんから吉川市に納めて頂く税金です。市民税、固定資産税などがあります。

●分担金及び負担金 2億 1,092万円

事業にかかる経費の一部を受益の程度に応じて利用者に負担していただいているお金です。

●繰入金 7億 6,086万円

一般会計と特別会計の間で相互に資金運用するためのお金や、各種基金(市の貯金)を取り崩して使うためのお金です。

●繰越金 3億円

前年度の支出を差し引いて余ったお金を、今年度の財源とするために繰り越した分のお金です。

Q 令和2年度の吉川市の歳出は？

A. 歳出は12の目的に分けられ、一般会計 230 億 3,200 万円のおよそ 43.6%が児童手当や保育委託料、障がい・高齢福祉サービスなどの民生費で 100 億 5,335 万円となっています。また、性質別など違う角度から見ることで、吉川市の現在の状況などを知ることができます。

●議会費 2億 923万円

市議会の運営に必要な経費です。

●総務費 20億 6,976万円

市役所の全体的な仕事に必要な経費です。

●民生費 100億 5,335万円

社会福祉や児童福祉に必要な経費です。

●衛生費 15億 6,614万円

健康維持や環境保全などに必要な経費です。

●農林水産業費 2億 3,886万円

農業の振興や普及に必要な経費です。

●商工費 1億 2,646万円

商工業の振興などに必要な経費です。

●土木費 32億 3,353万円

各種公共施設の整備などに必要な経費です。

●消防費 11億 9,064万円

減災、消防などに必要な経費です。

●教育費 23億 1,152万円

学校教育、社会教育などに必要な経費です。

●公債費 20億 1,734万円

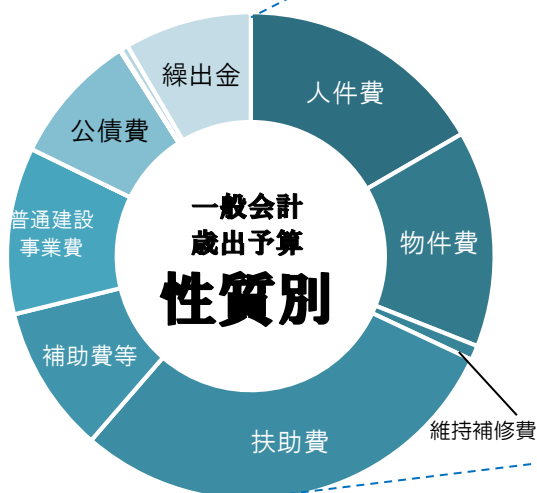
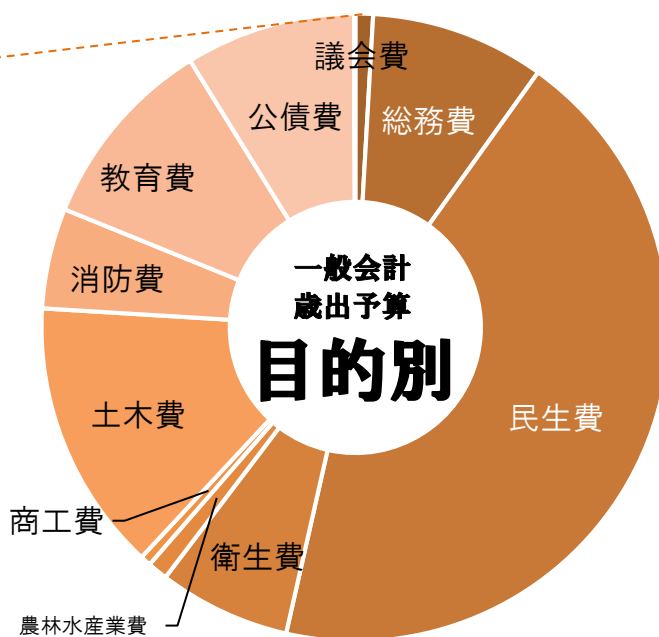
借入金の返済に必要な経費です。

●諸支出金 17万円

ほかの支出に含まれない経費です。

●予備費 1,500万円

緊急の支出に充てるために必要な経費です。



●人件費 38億 3,309万円

職員の給与などに係る経費です。

●物件費 33億 1,131万円

光熱水費、消耗品費、通信運搬費、委託料などの経費です。

●維持補修費 2億 2,275万円

市が管理する施設等の効用を維持するための費用です。

●扶助費 67億 6,557万円

子育て支援、障がい者支援、生活保護などに係る経費です。

●補助費等 22億 5,642万円

団体への補助や一部事務組合に対する負担金などの経費です。

●普通建設事業費 25億 4,966万円

道路や学校の改修など都市基盤の整備に係る経費です。

●積立金 16万円

●貸付金・出資金 1億 1,605万円

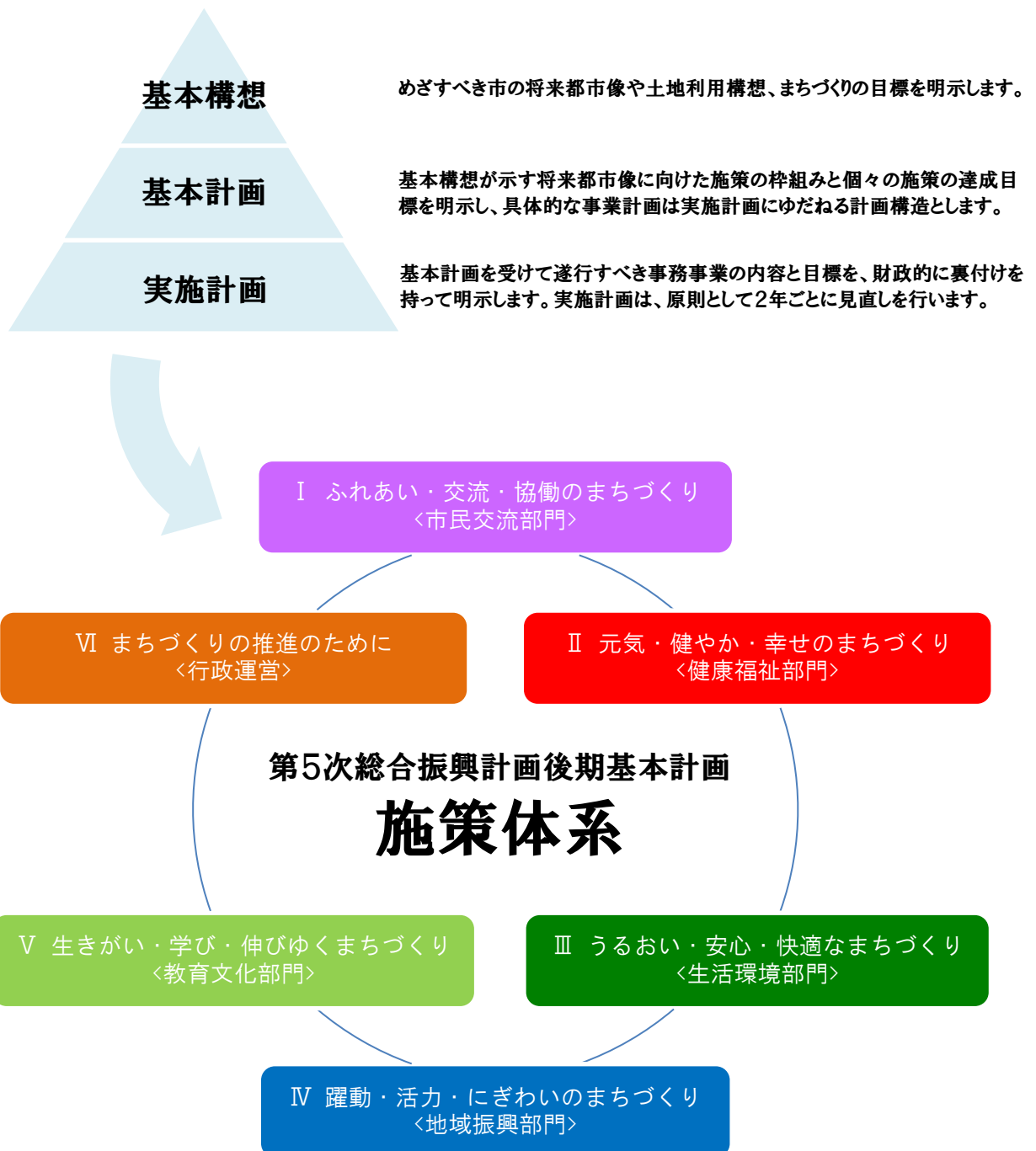
●公債費 20億 1,734万円

●繰出金 19億 4,465万円

●予備費 1,500万円

Q 令和2年度はどのような事業を行う？

- A. 吉川市で令和2年度に行われる事業の一部を、第5次総合振興計画・後期基本計画の施策体系別にご紹介します。総合振興計画とは、吉川市の目指すべき将来都市像やまちづくりの目標の実現のため、市政運営の長期的な指針を示すことを目的として策定するもので、「基本構想」「基本計画」「実施計画」で構成しています。



I ふれあい・交流・協働のまちづくり〈市民交流部門〉

●市民参加推進・自治会活動支援事業

「みらいステップアップ助成金」や「市民シンクタンク」事業を継続するとともに、自治会活動や地域自治について専門家を招き、自治会活動を支援してゆきます。

5,350万円

【財源内訳】 一般財源…5,350万円

・・・主な事業内容・・・



地域勉強会の様子
(令和元年度実施)

拡充

「地域課題を地域で解決するための勉強会」分科会活動

継続

吉川市みらいステップアップ助成金

市民参画・協働に係る研修会

市民参画審議会

自治会活動補助金

●男女共同参画推進事業

「性の多様性」をテーマとした啓発や、DV防止と被害者支援に努めるとともに、男女共同参画市民意識調査を実施し、男女共同参画基本計画の改定についても取り組みを進めてまいります。

262万円

【財源内訳】 国県支出金… 90万円
一般財源…172万円

・・・主な事業内容・・・

新規

男女共同参画市民意識調査の実施

継続

男女共同参画推進事業についてのイベント開催

配偶者暴力相談支援センター相談員配置

●国際交流推進事業

地域の多文化共生をさらに育むとともに、友好提携市レイクオスエゴ市との交流や日本語教室を継続し、外国人を含むすべての市民が暮らしやすい「多文化共生社会」を推進します。

339万円

【財源内訳】 一般財源…339万円

・・・主な事業内容・・・

継続

多文化共生講師謝礼

青少年親善訪問団派遣

吉川市国際友好協会助成

日本語教室ボランティアスタッフ養成講座



インターナショナルフレンド
シップパーティーの様子
(令和元年度実施)

II 元気・健やか・幸せのまちづくり〈健康福祉部門〉

●障がい者支援に関する事業

障がいのある人が困ったときに「ちょっとした手助け」を行う「あいサポート運動」を実践し、誰もが暮らしやすい社会の実現を進めてまいります。

2億9,558万円

【財源内訳】 国県支出金…1億2,592万円
その他…2万円
一般財源…1億6,964万円

・・・主な事業内容・・・

新規

障がい者雇用

あいサポート運動推進事業負担金

継続

音訳ボランティア養成講座

屋内スポーツ大会の実施

障がい者の地域での生活を考える検討会議



屋内スポーツ大会
(令和元年度実施)

●健康の維持・増進に関する事業

農産物の生産者や工場をめぐるウォーキング事業を実施し、市民の自主的な健康づくりの取組を進めてまいります。また、高齢者の健康寿命の延伸を図る取り組みとして、演劇などの芸術活動を取り入れた運動教室の開催などに引き続き取り組んでゆきます。

1億587万円

【財源内訳】 国県支出金…1,202万円
その他…802万円
一般財源…8,583万円

・・・主な事業内容・・・

新規

ウォーキングデーの開催

親子料理教室の開催

継続

埼玉県コバトン健康マイレージ負担金

いきいき運動教室の開催

●スポーツ推進に関する事業

「スポーツ教室」等を引き続き実施するとともに、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会への機運醸成を図るため、スポーツイベント等を実施し、スポーツと健康長寿、障がい者スポーツ、バリアフリー、多文化共生に焦点をあてて取り組んでゆきます。

1億5,002万円

【財源内訳】 その他…1,742万円
一般財源…1億3,260万円

・・・主な事業内容・・・

新規

オリンピック・パラリンピック推進事業

継続

スポーツ教室等の開催

スポーツ団体活動支援

総合体育館管理

旭公園球場管理

市民プール管理

Ⅲ うるおい・安心・快適なまちづくり〈生活環境部門〉

●公園維持管理事業

身近で親しみのある公園として、公園施設の適正な維持管理を実施するとともに、市民や管理団体との協働による維持管理を併せて推進してゆきます。

2億6,081万円

【財源内訳】その他… 621万円
一般財源…2億5,460万円

・・・主な事業内容・・・

- | | | | |
|----|-----------|-------------|-----------|
| 継続 | 関公園の改修 | 公園・緑地管理業務委託 | 公園施設の修繕 |
| | 児童広場等管理報償 | 公園清掃等業務委託 | 遊具の点検業務委託 |

●減災対策事業

「減災意識、自助・共助の意識の向上」、「将来にわたる地域減災の担い手の育成・発掘」を目指し、「地区が行う自発的な防災・減災活動に関する計画の策定支援」を行うほか、「避難行動要支援者への迅速かつ確実な避難情報の提供」を図ってゆきます。また、「洪水ハザード標識の設置」、「災害用スツール型トイレ設置」「中央中学校防災倉庫修繕」についても、取り組みを進めてまいります。

3,603万円

【財源内訳】地方債…1,480万円
一般財源…2,123万円

・・・主な事業内容・・・

- | | | |
|----|-------------|----------------|
| 新規 | 洪水ハザード標識の設置 | 災害用スツール型トイレ設置 |
| | 中央中学校防災倉庫修繕 | |
| 継続 | 減災講演会 | 災害用備蓄物資購入 |
| | 減災プロジェクト | 防災行政無線電話応答サービス |
| | 家具転倒防止金具取付 | 安全・安心メール配信 |
| | 自主防災組織補助 | 防災気象情報サービス提供委託 |
| | 防災会議 | よしかわ安心電話 |



第4回減災プロジェクト
in 中曽根小の様子
(令和元年度実施)

IV 躍動・活力・にぎわいのまちづくり〈地域振興部門〉

●公共交通機関整備改善推進事業

高齢者の地域生活を支える移動支援として平成29年12月より試行的に始めた「タクシー利用料金助成事業」が試行期間の終了を迎えることから、事業の検証を行うための検討会を実施し、公共交通の充実に努めてまいります。

3,266万円

【財源内訳】一般財源…3,266万円

・・・主な事業内容・・・

新規

タクシー利用料金助成事業検証のための検討委員会委員報償

継続

路線バス運行経費補助

タクシー利用助成

●農業に関する事業

千葉大学との連携協定により、吉川市独自の都市近郊農業の確立を進めるとともに、生産者や関係機関との協働による吉川市の農業のPRを継続して展開してゆきます。

1億593万円

【財源内訳】 国県支出金…1,047万円
地方債…2,430万円
その他…781万円
一般財源…6,335万円

・・・主な事業内容・・・

継続

千葉大学との包括連携協定

全国ねぎサミット参加

用排水路整備

認定農業者支援対策事業費補助

6次産業商品開発支援事業費補助

農業次世代人材投資資金

市民農園施設改修



全国ねぎサミット 2019in まつど

●商工業に関する事業

「産業振興推進事業費補助金」や「なまずの日記念イベント」等を継続するほか、「大吉ブランド」新規認定を実施し、産業の活性化を図ってまいります。また、事業承継に対する課題を解決するために「事業承継セミナー」を開催します。

6,529万円

【財源内訳】その他…3,000万円
一般財源…3,529万円

・・・主な事業内容・・・

新規

事業承継セミナー

継続

産業振興推進事業費補助金

なまずの日記念イベントの実施

なまずサミット参加

商業活性化推進事業費補助

一店逸品事業費補助

産業フェア開催



なまずの日記念イベント
なまずふれあいコーナーの様子
(令和元年度実施)

V 生きがい・学び・伸びゆくまちづくり<教育文化部門>

●教育指導推進事業

平成30年度から実施しているいじめ・不登校対策プログラム「勇者の旅」をこれまで取り組んできた北谷小学校・関小学校に加え全小学校に導入します。また、学びと育ちの連続性を重視した教育の充実を図るため、市内全ての小・中学校での小中一貫教育を推進し、児童生徒の学力・体力向上や非認知能力の向上を図ってまいります。

2,290万円

【財源内訳】 国県支出金… 434万円
その他… 1万円
一般財源…1,855万円

・・・主な事業内容・・・

拡充	不登校対策プログラム「勇者の旅」の全小学校導入	小中一貫教育推進事業
継続	教育支援員	学校事務支援員
	郷土料理材料費	特色ある教育推進事業交付金

●社会教育推進事業 (社会教育総務費・公民館費)

「文藝よしかわ」「演劇プロジェクト」「俳句探検団」などの事業を引き続き実施します。また、「文化芸術を総合政策として推進するための基本的な方針」に基づき展開してきた、「放課後子ども教室における文化連盟との協働」「いきいき運動教室における演劇療法」「平和のつどいにおける朗読劇」等、部署間の連携を図りながら、文化芸術を総合政策として展開してゆきます。

1,122万円

【財源内訳】 その他…361万円
一般財源… 761万円

・・・主な事業内容・・・

拡充	文藝よしかわレセプション動画作成	
継続	家庭教育学級交付金	地域寺小屋事業交付金
	放課後子ども教室事業	子ども大学交付金
	市民文化祭運営交付金	俳句探検団



俳句探検団
(令和元年度実施)

VI まちづくりの推進のために〈行政運営〉

● 広報事業

多くの方々に手にしていただけるように「広報よしかわ」を充実させるとともに、「市政動画」やFMこしがやのラジオ番組「金のなまず」など、市民と協働で行う情報発信の強化拡充を図ってまいります。

886万円

【財源内訳】 その他…130万円
一般財源…756万円

・・・主な事業内容・・・

継続

ラジオ番組制作

市政動画配信

広報よしかわ印刷製本

データ放送サービス使用



FMこしがやのラジオ
番組「金のなまず」

● 企画調整事業

令和4年度を始期とする第6次吉川市総合振興計画を策定します。令和2年度は、審議会の開催や市の現状分析等の基礎調査を実施します。また、吉川美南駅東口地区の文化施設など、公共施設整備について検討してまいります。

2,546万円

【財源内訳】 その他… 2万円
一般財源…2,544万円

・・・主な事業内容・・・

新規

第6次吉川市総合振興計画策定

吉川美南駅前施設整備検討事業

継続

庁内の連携・調整業務

● 人事管理に関する事業

多様化する住民ニーズに対応するため、職員採用では「民間企業等経験者・スポーツ枠」を設け多様な人材の確保に努めるとともに、ファシリテーション研修やSDGsに関する研修を実施し職員の資質向上を図ります。令和2年度は、公務上必要な資格の取得に対する助成制度を設ける等、働きやすい環境づくりと人材育成に努めてまいります。

1,118万円

【財源内訳】 一般財源…1,118万円

・・・主な事業内容・・・

新規

資格取得助成制度

継続

職員研修の開催

職員採用

職員の健康診断

～市長からのメッセージ～



皆さんの暮らしに直結する「まちの予算」。それを皆さんに出来る限りわかりやすくお伝えしようと、この「主な事業のあらまし」を作成しました。

吉川市の目標である「市民一人ひとりの幸福実感の向上」「持続可能な社会づくり」をさらに進めるためには「市民と行政の共働」が不可欠であります。そこで、令和2年度の予算編成では、「取捨選択」「チャレンジ」「スピード感」に加え、個々の事業における「市民と行政の共働」を意識した事業計画の下、政策のさらなる充実化・効率化を図るために、部署を超えた「横断的な事業展開の推進」を方針として示しました。それでは、令和2年度にさらに力を入れてゆく事業についてご紹介します。

市民との共働

第13回マニフェスト大賞優秀賞を受賞し、先進的な取り組みとして全国から注目されている吉川市の「みらいステップアップ助成金」や「市民シンクタンク」、「市長キャラバン」、「市長とランチミーティング」などの「市民と行政の共働」事業を引き続き展開するとともに、昨年度、自治連合会・市民・専門家・学生などで立ち上げた「地域課題を地域で解決するための勉強会」において「地域減災のための新たな組織づくりと活動」、「多文化共生」「高齢者支援の取組」をテーマに研究を深め、「市民と行政の共働」による「まちづくり」をさらに進めてゆきます。

減災力の向上

これまで「自助・共助・公助」を一体とした様々な減災対策事業に取り組んできましたが、今年の台風19号は埼玉県にも甚大な被害をもたらし、吉川市においても2度目となる「避難勧告」を発令するなど、災害は私たちの目の前まで迫ってきています。そうした中、令和2年度は、台風19号における江戸川の水位上昇を受け、重要水防地区である旭地区での「減災プロジェクト」の実施、また、「自助・共助」の意識向上の推進をするため、電柱に浸水深を表示する「水害関連標識」の設置、「避難所開設・運営マニュアル」の作成、「地区防災計画」の策定支援などを進めてまいります。

文化芸術を総合政策に

「埼玉県」そして「彩の国さいたま芸術劇場」の特別な協力の下、企業寄付やふるさと納税により資金面でも多くの方々に支えられ展開してきた吉川市の「演劇プロジェクト」。今年の公演「らしょうもんのおに」では、演者と観客が一体となった舞台が市内外から高い評価をいただきました。令和2年度は文化芸術の振興と共に、「平和のつどい」の朗読劇や演劇手法を取り入れた「いきいき運動教室」、美術協会や舞踊協会の皆様のご指導による「放課後子ども教室」、「文藝よしかわ」のスピノフ企画「俳句探検団」など、様々な分野の課題解決のため、文化芸術を総合政策として展開してゆきます。

旭・三輪野江地区の発展

旭地区では、これまでの調査や市長キャラバンでの意見交換の結果を踏まえた「市民農園再整備」に着手し、地域や農業の拠点として、さらなる魅力向上を図ります。三輪野江地区では、「農業パーク」の整備に向けた準備を進め、「道の駅」「公園」「植物工場」「なまず養殖場・加工工場」等、地区の発展と都市近郊農業の確立を目指します。また、3年目となる「タクシー利用料助成金事業」の精査を通して、旭・三輪野江両地区の公共交通についてしっかりと検討を進めてゆきます。

障害者福祉

障害者福祉については、これまで、検討会議の開催や、三郷特別支援学校 PTA、越谷特別支援学校 PTA、吉川市手をつなぐ育成会の皆さまとの協議を重ね、様々な角度から検討を行ってきました。そうした中、障害者雇用を促進するため、知的障害のある方のモデル雇用を令和2年度からスタートします。また、移転・拡張した「こども発達センター」におけるきめ細かい療育の継続、さらに「中川の郷療育センター在宅支援棟」を新たに整備し、在宅支援サービスの充実も図ってゆきます。

令和2年度吉川市主な事業のあらまし

【発行】吉川市

【お問合せ】吉川市 総務部 財政課

〒342-8501 埼玉県吉川市きよみ野一丁目1番地

電話 048-982-5967(直通)



©yoshikawa